

平成 24 年度札幌医科大学「地域包括型診療参加臨床実習」外部評価委員会

外部評価委員からのご意見

- ・ 卒前教育における臨床教育の前倒しは絶対に必要だと思う。学生と医師で立場がガラリと変わる部分をいかにスムーズに移行させるかということは非常に重要で、どこの病院でもどうしたら上手くいくか悩んでいる。そのため、やはり気になるのは、学生と医師の仕切りがどこまでなのかという点である。
- ・ 病院での研修医教育は、指導医が研修医の全てをチェックするというで成り立っているのですが、その研修医が学生を指導する屋根瓦式の場合、研修医にどこまで指導権限を与えていいのかという点が難しい。
- ・ 4 週間の臨床実習のうち 1 週間を、地域の福祉施設等で実習してもらえるのは、行政側としては有難い。保健所での実施を要請される場合には、実習に協力するように保健所に働きかけたい。

以上